

ソーシャルワーク演習

[演習] 第2学年 後期 必修 1単位

《担当者名》 福間 麻紀 m-fukuma@hoku-iryo-u.ac.jp 奥田 かおり 片山 寛信 高野 和美(非)

【概要】

ソーシャルワークに求められる知識と技術について実践的に習得し、専門的援助技術として体系化できる能力を身につける科目である。実践を行うための基本的な知識・技術として、面接技術、アセスメントやプランニング等の支援技術について事例を用いて実践的に習得する。

【学修目標】

1. 基本的面接技術を用い、インテーク面接を展開することができる。
2. アセスメントやプランニングに必要な知識と技術を習得し、実際に作成することができる。また、ジェノグラムとエコマップを作成し、ポイントを説明することができる。
3. 課題別の事例検討において、利用者に対する共感的理解と支援ニーズの把握、ミクロ・メゾ・マクロの視点を用いた状況・支援課題の分析と具体的な支援を検討することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	基本的面接技術1	これまで学んだ面接技術を用い、インテーク面接を展開することができる(ロールプレイ)。	福間 奥田 片山 高野
2	基本的面接技術2	これまで学んだ面接技術を用い、インテーク面接を展開することができる(ロールプレイ)。	福間 奥田 片山 高野
3	基本的面接技術3	模擬面接のふりかえりを通して、個々の習得状況と、面接技術の習得に向けた課題と取り組みを確認する。 ○単元終了課題 プロセスレコード(面接技術)	福間 奥田 片山 高野
4	課題別ソーシャルワーク演習1/貧困に関する演習	ホームレスの状況にある人を取り巻く問題や生活ニーズについて理解する。 ホームレスへの支援の実際、アウトリーチの実践的な方法を理解する。 単元課題 講義内容のまとめと感想	福間 奥田 片山 高野 波田地利子(特別講師)
5	課題別ソーシャルワーク演習1/貧困に関する演習	事例の情報から、ホームレス状態にある人の心情をとらえることができる。 事例の情報についてアセスメントシートを用いて整理し、利用者自身とおかれている状況を理解することができる。 ジェノグラム、エコマップを作成できる。	福間 奥田 片山 高野
6	課題別ソーシャルワーク演習1/貧困に関する演習	アセスメントシートの情報を分析し、問題の把握と対処、ストレングス、客観的ニーズ判断をとらえる。 貧困・ホームレス状態にある人の生活上のニーズを充足する社会資源についてとらえることができる。	福間 奥田 片山 高野
7	課題別ソーシャルワーク演習1/貧困に関する演習	事例の支援目標、支援計画を作成する(プランニング)。 各グループからプレゼンテーションを行う。 ○単元終了課題 支援計画の作成	福間 奥田 片山 高野
8	課題別ソーシャルワーク演習2/高齢者に関する相談援助演習	事例情報から、本人・家族を取り巻く問題や生活ニーズを把握する。 利用者理解として、利用者や関係者の心情や葛藤を理解することができる。 ジェノグラムを作成できる。	福間 奥田 片山 高野
9	課題別ソーシャルワーク演習2/高齢者に関する相談援助演習	アセスメントシートを用いて事例情報を整理し、利用者ニーズの把握と生活課題、ストレングスをとらえる。 事例分析にミクロ・メゾ・マクロの視点を用いることができる。	福間 奥田 片山 高野

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		エコマップを作成できる。	
10	課題別ソーシャルワーク演習2 / 高齢者に関する相談援助演習	アセスメントシートを用いて事例の情報を分析し、客観的ニーズをとらえることができる。	福間 奥田 片山 高野
11	課題別ソーシャルワーク演習2 / 高齢者に関する相談援助演習	アセスメントをもとに、支援目標を設定し支援計画を作成することができる(プランニングシート)。 ○単元終了課題 アセスメントシートの作成	福間 奥田 片山 高野
12	課題別ソーシャルワーク演習3 / 複合的問題に関する演習	事例情報を整理し、アセスメント面接において情報収集すべき内容を示すことができる。 関係者への面接を通して、必要な情報を収集することができる(ロールプレイ)。	福間 奥田 片山 高野
13	課題別ソーシャルワーク演習3 / 複合的問題に関する演習	事例の情報と面接内容から、利用者や関係者の心情や葛藤を理解することができる。 アセスメントシートを用いて、事例の情報を整理することができる。	福間 奥田 片山 高野
14	課題別ソーシャルワーク演習3 / 複合的問題に関する演習	事例の情報を分析し、問題の把握、ストレングスの把握、客観的ニーズをとらえることができる。	福間 奥田 片山 高野
15	課題別ソーシャルワーク演習3 / 複合的問題に関する演習	アセスメントをもとに、支援目標を設定し支援計画を作成することができる(プランニングシート)。 単元終了課題 アセスメントシートと支援計画の作成	福間 奥田 片山 高野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題5回(50%)、事前学習・グループへの参加度(意欲・姿勢)(40%)、模擬面接(10%)

課題：各単元の課題内容に従いレポート提出(各単元の欠席が過半数に達した場合は受理しない)

【教科書】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『7 ソーシャルワーク演習【社会専門】』中央法規(2021)

初回講義時にプリントを配布

【参考書】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『12 ソーシャルワークの理論と方法【共通科目】』中央法規(2021)

【備考】

- ・基本的に20名以下のグループで学習する。
- ・各単元終了時にレポート・実技試験により学習到達度を評価する。なお各単元課題を受験するためには、各単元において過半数以上の出席を要する。
- ・演習という授業の性格上、遅刻は欠席扱いとする。
この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「ソーシャルワーク演習(専門)」に該当する。

【学修の準備】

- ・予習として、次回の授業で取り扱う事例を読みこみ、援助技術や用語については教科書や参考書、辞書等を用い、事前に調べてくること。各単元で取り扱う事例に関係する制度政策、社会資源等を事前に調べることを課題とする。(30分)
- ・復習として、授業後は毎回必ず振り返り、知識や技術が定着するよう取り組むこと。(30分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律

的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

福間麻紀（社会福祉士）、奥田かおり（ソーシャルワーカー）、片山寛信（社会福祉士）、高野和美（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関、相談支援機関、教育機関、社会福祉施設等でのソーシャルワーカーとしての実務経験を活かし、実際の相談援助過程を想定した課題別の相談援助事例による総合的・包括的な援助についての実践的な講義や実技指導を行う。